

小学受験から見守ってきたからできる

私立小在籍者に支持されるワケ

私立小学校在籍者にとって中学進級(進学)の進路選択は大切な節目です。3年、6年後の視野も踏まえての判断となります。岸和田校には私立在籍者がこれまでに多数通塾しています。事情、目標の異なる各自の学習管理は画一的な指導では不可能です。本校が常に行っている一人ひとりに対応したきめ細かな指導が支持される理由です。

内部進級、外部受験判断のための的確な資料を提供
内部進級に向けての校内実力テスト(定期テスト)対策
過去の豊富な受験資料で外部受験への万全の受験対策
学校行事が多い私学に対してフレキシブルな指導体制



主な対象校 (過去・現在籍者)

大阪教育大附属天王寺小/帝塚山学院小/
賢明学院小/はつしば学園小/城星学園小/
追手門学院小/智辯和歌山小ほか
進級(進学時)の選択肢は学校により異なります。通常の成績を考慮しながら本人の性格も含め進学相談時に選択肢を提案します。また若桐会(幼児部)卒業生については過去の学習データからよりの的確な指導ができます。

在籍校とその対策

智辯和歌山小学校

原則として全員が中学への内部進級。その際、学力によりクラス分けが行われる。5・6年生での定期テスト「実力テスト」と外部受験者と一緒に受ける入学試験の結果で決められる。

- 対策 実力テスト対策ならびに当校の入試問題演習。また早い進度に対して復讐の徹底で定着を図る。

帝塚山学院小学校

あらかじめ内部進級希望届けを提出した児童に6年生の11月に進級許可が出される。選択肢は帝塚山学院 泉ヶ丘中、帝塚山学院(関学コース)など。進級については6年生の夏と秋の実力テストならびに平素の学習態度などが判断要素となる。なお、入学試験については他の受験生と一緒に受けることになる。

- 対策 実力テストは難易度の高いものではなく平素の本校の学習で十分カバー。また外部受験者には週3回～4回の本校のシステムで対応。

はつしば学園小学校

内部進級としての選択肢は初芝富田林、初芝立命館、初芝橋本など。校内の成績ほか五ッ木駿々堂テストの得点で進級先が決められる。ただし、進級先を確保したうえで他校の受験も自由に受けられる。ここが当校の特徴。他の私立小学校では内部進級者は外部受験が認められていない。

- 対策 過去大半の塾生は外部受験を選択。通常の受験指導を進めながら五ッ木駿々堂テストの対策も実施。

大阪教育大附属天王寺小学校

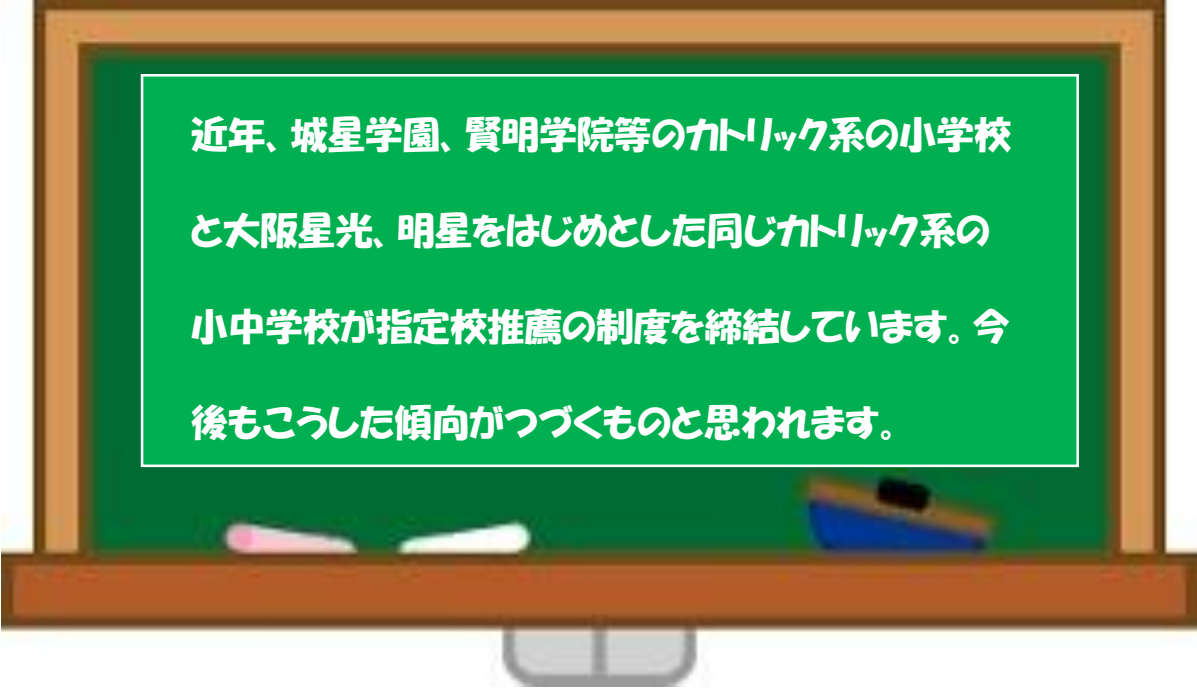
年度によって変動があるが、上位3分の2に対して中学進級の許可が出る。つまり下位の30%余りは進級できず公立中学か私立中学受験となる。ただし、現実のごく上位の10%～20%は難関中学を受験。

- 対策 当校の学習指導は他の私立と異なりかなり特殊。長期的視野において指導するためいわゆる外部の私立中の受験には適さない。少なくとも5年生の後半から6年生の初めには内外部への進学判断が必要。こちらではこうした各自の目的に応じて学習指導。

賢明学院小学校

併設の中学が共学化され内部進級を希望する男子もいるが、大半は男女とも外部受験を選択。こうした状況のなか前述のはつしば学園同様塾に通う児童も少なくない。

- 対策 当校の国語の指導は大変優れているがやはり受験に向けての算数はバックアップが必要。上位校めざす児童が多いため高度な学習指導が必要となる。



近年、城星学園、賢明学院等のカトリック系の小学校
と大阪星光、明星をはじめとした同じカトリック系の
小中学校が指定校推薦の制度を締結しています。今
後もこうした傾向がつづくものと思われます。

